



長期化しつつあるフリーター、現在その数は170万人（2008年厚生労働省）に上る。若年フリーターの公的支援機関の中核組織である「ヤングワークプラザしぶや」は、フリーター支援で多くの実績をあげてきた渋谷ヤングハローワーク（01年11月設立）の業務の一部を引き継ぐ形で、07年9月に発足した。

「若年フリーターを、専門的にきめ細く支援するのがうちの特徴です。今すぐに就職して職場に定着するにはまだまだ時間がかかる、いわゆる就職以前のさまざまな課題を抱える無業者の若者も多く来所しています。対象年齢は35歳未満まででしたが、長期化傾向がさらに深刻化する状況を受けて、この7月から39歳までに対象年齢を広げて支援しています」（竹間和正 総括マネージャー）

来所者の中にはニートな若者も少なくなく、職場定着を達成するには継続的で多面的な援助が必要である。この難しい支援を担当するキャリア・コンサルタントは総勢9名。その中の一人、3年目になる磯部聖子さんに今の仕事を語ってもらった。

いそべ・せいこ●ハローワーク渋谷の求人開拓推進員、東京就職サポートセンター、渋谷ヤングハローワークに職業相談員として勤務の後、現職。産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント。

ヤングワークプラザしぶや

フリーターが長期化している若年者で特に専門的な支援を必要とする人に対して、きめ細かな支援を実現するため、職業適性診断、職業カウンセリング、ジョブクラブ（就職塾）及び各種就職支援セミナーなどを重点的に行っている。対象者は、ハローワークの求職登録者のうち、①39歳未満（学生を除く）②最近1年以上雇用保険被保険者でなかった③正社員での就職を希望している、の条件を満たす人。（本誌2008年春季号に紹介記事）

所在地●東京都渋谷区神南1-21-1日本生命渋谷ビル5F

TEL●03-3770-8609 URL●<http://www.younghw.go.jp/>

開館●月曜～金曜（土・日曜・祝日、年末年始休み）の10:00～18:30

ヤングワークプラザしぶやでの私の仕事には、三つの側面があります。一つめがセミナールームで実施するジョブクラブでのグループコーディネート、次に職業相談コーナーで行う個別支援、そして三つめが職業適性検査のテストです。これら三つのサービスを、来談者のニーズに応じて有機的に組み合わせ、より効果的になるよう支援を行っています。

ヤングワークプラザしぶやの職業適性検査は本格的である。ホルンズの職業選択理論を背景とした職業興味検査（VPI、VRT）をはじめ、能力検査の厚生労働省編一般職業適性検査（GATB）では、紙

キャリア・コンサルタントに聞く

正社員を目指すフリーターに 多様なプログラムで最適な就職支援を

ヤングワークプラザしぶや
ジョブクラブコーディネーター 磯部聖子さん

公的機関
では



就職に成功した人からのメッセージ

職種：営業／27歳 男性

ニート暦5年あったけど受かりました！
10カ月ぐらいいかりましたけど！
なお、職歴ないです。テレオペのバイト暦が3年前に9カ月ほどあっただけで、まあ、でも受かりました。
応募した会社80社近く。面接行っただけは15社ぐらいですね。
ですから言えることは一つです。
あきらめないことが大事です！
過去や今を否定せず、自信もって下さい。根拠なんてありません。
やる気と素直さ、それを両立できればOKです。
相談員もどんどん利用しましょう。どうしても就職する、できる、という意味が大事です。自分は特別スキルないけど通りました。大丈夫です。あと、体験入社までいったのに落ちたという経験をしました。最後まで気を抜かないで下さい。

ジョブクラブの支援期間は3カ月、内容は就活支援のプログラムと集団コミュニケーションを組み合わせたものになっている。「何から始めていいかわからなかったが、その何

様なグループを用意してあり、その人に最適な支援プログラムを組んでやっています。

就職後に、「やっていけるかな」「苦しい」といった訴えがありましたが、その都度気持ちを受けとめて励まし、継続勤務が可能になるように定着支援も行っていました。

自己と職業への理解を深め、働くことや就活への意欲を引き出していくには、個別相談とグループを活用した支援が最も速く効果があると思います。ここでは、その人のレベルに応じて、私を含め3人が担当しているジョブクラブをはじめ、おなじみの業界や職種セミナーから、職場での対人関係向上を狙ったアサーションセミナーまで多

筆検査だけでなく、スタッフが4人がかりで器具検査を実施して運動機能を測定している。
磯部聖子さんのキャリア・コンサルタントとしてのキャリアは、有楽町にあった東京就職サポートセンターが始まりだった。その前は、ハローワーク渋谷の求人開拓に携わる。実はこの3年半携わった求人開拓の経験が、キャリア・コンサルタントの仕事にとっても役に立っていると述べる。子育てが一段落した後、約10年ぶりに仕事を持とうと当時の渋谷レイス・ハローワークへ相談に行きましたら、ハローワーク渋谷での求人開拓の

仕事を紹介してくれたんです。この仕事で約2千社の会社回りをしました。以前、約9年間自宅に閉じこもっていた29歳の男性Nさんを担当した時、個人支援や心理カウンセリングを活用しながら、履歴書作成や面接対策も十分行い就職準備を整えていきました。約3カ月後、ようやく求人紹介ができるレベルまでになった時に、求人開拓時代に知っていた『社員を大切に作るメーカーの生産管理の仕事』が目に見えてきました。線の細い彼だけど、この社風ならやっていける、理科系出身のNさん自身もその職種に興味を示し、何とか就職の壁を突破できたのです。

このNさんのように、本格的な就職活動に入るには時間が必要なヤングワークプラザしづやを訪れる若者には、大きく分けて三つのタイプがあるという。①何をしたいのかわからない、決められないタイプ、②就職活動や職場への多大な不安で動けないタイプ、③不本意な今の働き方から脱出したいタイプ、これら3タイプの混合も見られる。これらの孤立しがちな若者には、グループを活用した支援が最も効果的だと磯部さんは語る。

かが最後ははつきりさせられた」(27歳男性)、「自分に自信がついた」(28歳女性)、「同じ境遇の人とふれあうことができ、何より「動こう」という気持ちになれた」(24歳女性)と、参加者にはすこぶる評判が良い。
またヤングワークプラザしづやでは、就活や働く意欲の阻害要因となる様々な心理的な悩みを解消するため、臨床心理士による心理カウンセリングも毎週実施している。この臨床心理士から得られるケースへの所見が、磯部さんらに「大変参考になっている」という。

今、私たちが最も困っているのは、やつと面接までこぎ着けても、最終的に不採用になり、その時受けたダメージで激しく落ち込み、その後もなかなか立ち直れないケースです。また、採用されてもすぐ辞めてくる事例や、採用される前から、「ホントに受かったらどうしよう」と不安が先立ち、採用されても断ってしまうケースも目立ってきています。

さらに困難なケースが増える中、ジョブクラブに参加して閉ざされていた心が次第に開かれ、その後積極的に活動して就職を果たしていった人もいるように、いかなる若者も必ず成長し自らの試練を主体的に乗り越えていけると信じて、磯部さんはじめヤングワークプラザしづやのキャリア・コンサルタントたちは、日々粘り強く支援を行っている。